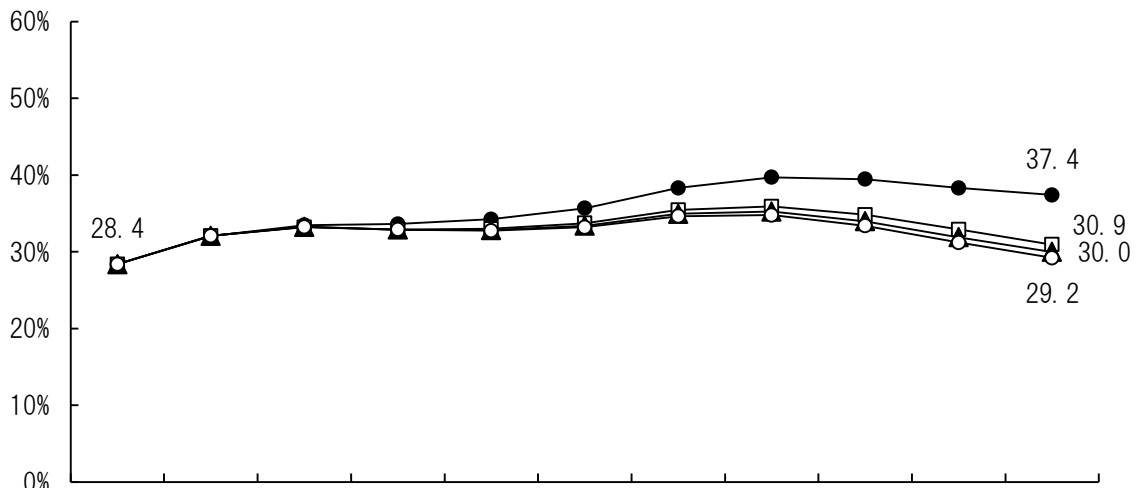


■ 老年人口割合



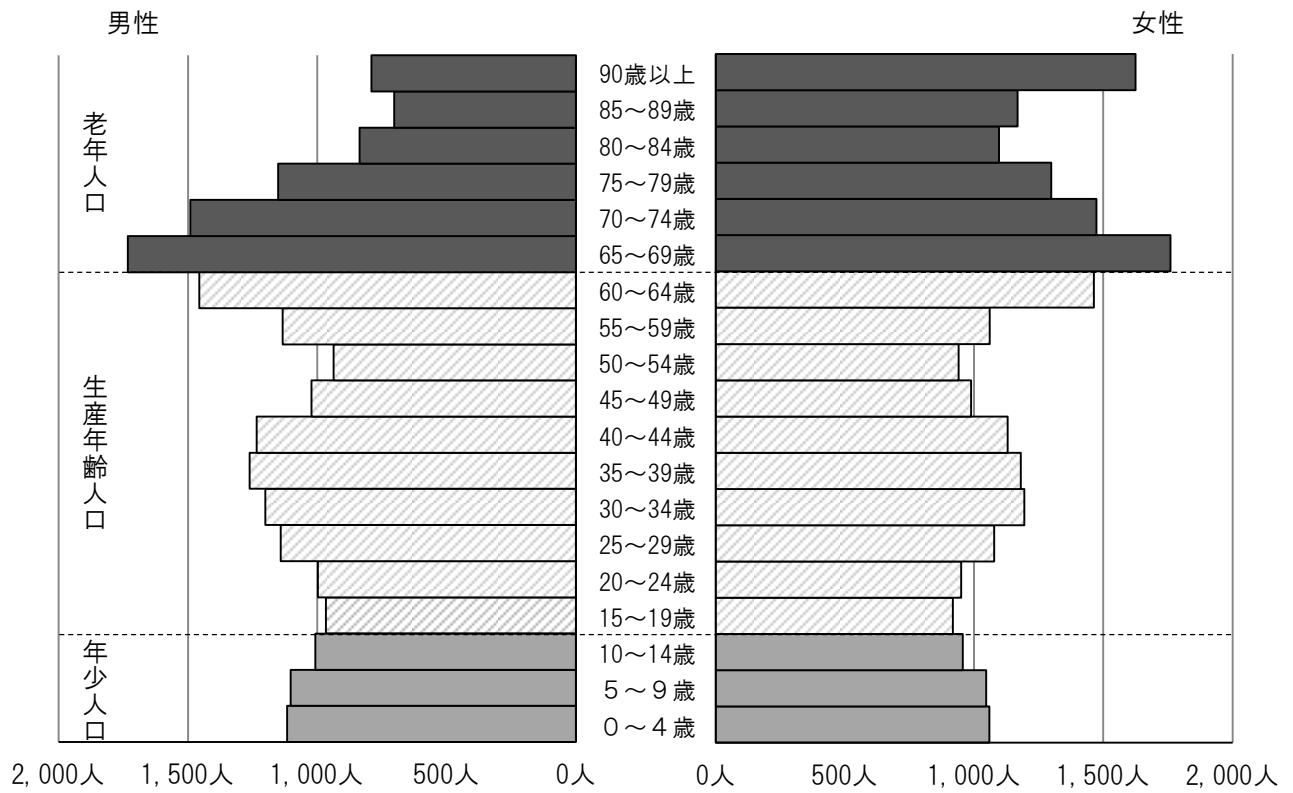
	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	平成47年 2035年	平成52年 2040年	平成57年 2045年	平成62年 2050年	平成67年 2055年	平成72年 2060年
● 社人研推計	28.4	32.1	33.5	33.6	34.2	35.7	38.3	39.7	39.4	38.3	37.4
□ 長野県推計	28.4	32.1	33.2	32.9	33.0	33.7	35.4	35.9	34.8	32.9	30.9
▲ 独自推計1	28.4	32.1	33.2	32.9	32.8	33.4	35.0	35.2	34.0	31.9	30.0
○ 独自推計2	28.4	32.1	33.2	32.9	32.7	33.2	34.6	34.8	33.4	31.2	29.2

■ 老年人口

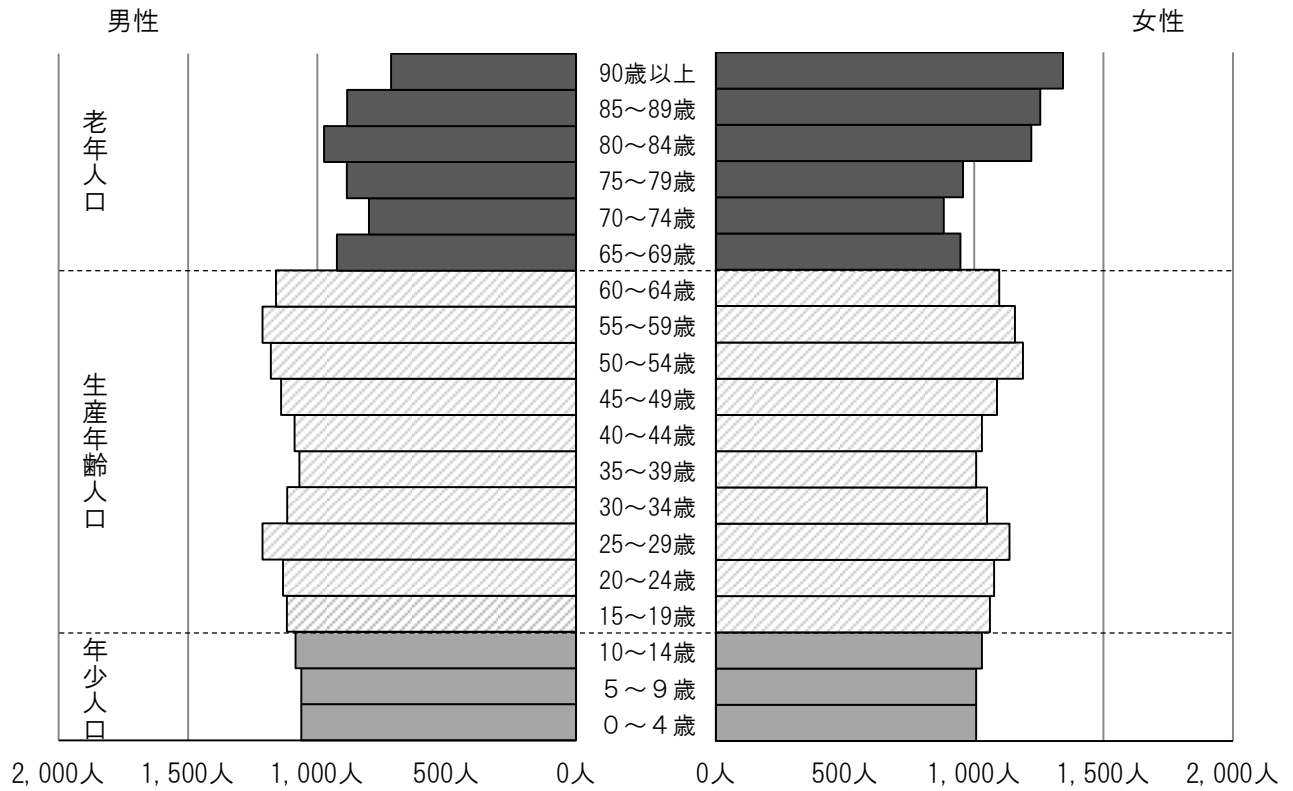
(単位：人)

	H22 2010年	H27 2015年	H32 2020年	H37 2025年	H42 2030年	H47 2035年	H52 2040年	H57 2045年	H62 2050年	H67 2055年	H72 2060年
社人研推計	14,995	16,246	16,200	15,419	14,795	14,471	14,565	14,139	13,138	11,875	10,723
長野県推計	14,995	16,246	16,220	15,528	15,040	14,857	15,099	14,828	13,962	12,793	11,642
独自推計1	14,995	16,246	16,236	15,520	15,018	14,847	15,126	14,871	14,007	12,840	11,771
独自推計2	14,995	16,246	16,236	15,520	15,018	14,847	15,126	14,871	14,007	12,840	11,789

<平成 52 (2040) 年>

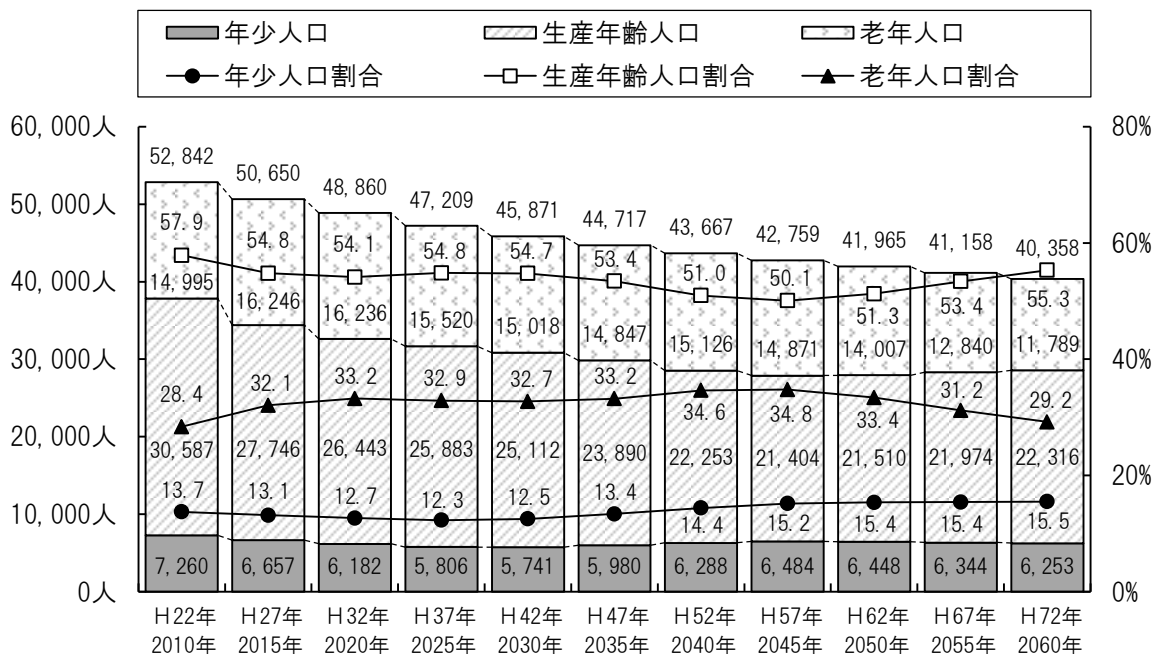


<平成 72 (2060) 年>



(3) 岡谷市の平成72 (2060) 年の将来展望人口

長野県の推計に準拠すると、平成72 (2060) 年に37,000人を超える人口となります。さらに、経年の伸び率を考慮すると、平成72 (2060) 年に39,000人を超える人口となります。加えて、人口減少対策に関わる施策をさらに展開し、平成42 (2030) 年以降、生産年齢人口の年20人増を見込むと、40,000人の人口を維持できます。



将来展望人口

平成72 (2060) 年 40,000人台を維持